



英語で出題されたクイズに答える児童＝羽咋市邑知小

児童生徒、英語でリモート交流 羽咋の3小中、訪問中止で

2020/08/25 01:58

羽咋市東部の邑知中と、校区内にある邑知小、余喜小は24日、リモート中継による英語交流を始めた。初回は中学生が英語でクイズを出題、小学生が回答する形式で進められ、子どもたちは楽しい時間を過ごし、笑顔を広げた。

3小中は例年、児童生徒が行き来したり、中学の教諭が小学校を訪れたりして交流してきた。今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、人的交流を見送る代わりに、児童生徒の英語力向上や同じ中学校に通う子どもの交流促進のため、ビデオ会議アプリを使って連携を図ることにした。

初回は音声トラブルがあったものの、邑知中1年33人の代表者や市の外国語指導助手（ALT）のマシュー・マグラガンさんが英語で出題するクイズに、邑知小6年26人と余喜小6年8人が答えた。

11月には部活動紹介や中学生活に関する質疑応答を行い、来年2月にもリモート中継での交流を予定している。

